

ユニバーサルデザインに関するアンケート調査

平成23年3月 山梨県企画県民部企画課

県民の皆様にユニバーサルデザインがどのくらい認知されているかを調べるため、アンケートを実施しました。

1 アンケート調査の実施期間

平成22年12月～平成23年1月

2 県政モニター数

386 人

3 回答数

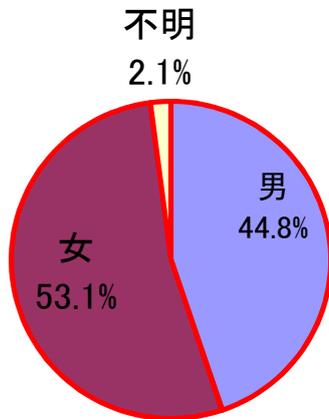
		調査数
(1) 郵送によるアンケート調査	247 人	(330 人)
(2) インターネットによるアンケート調査	43 人	(56 人)

合 計 290 人

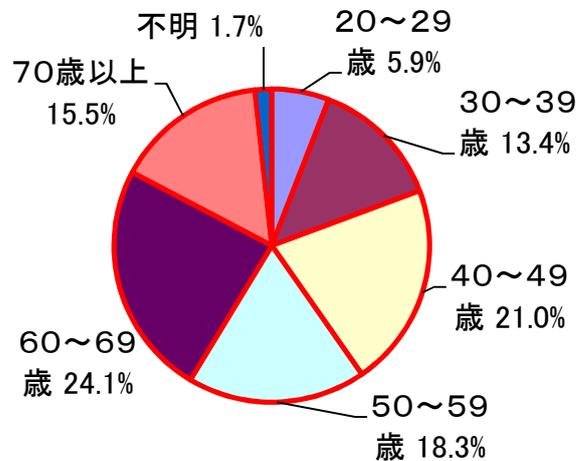
回答率 75.1 %

4 回答者の属性

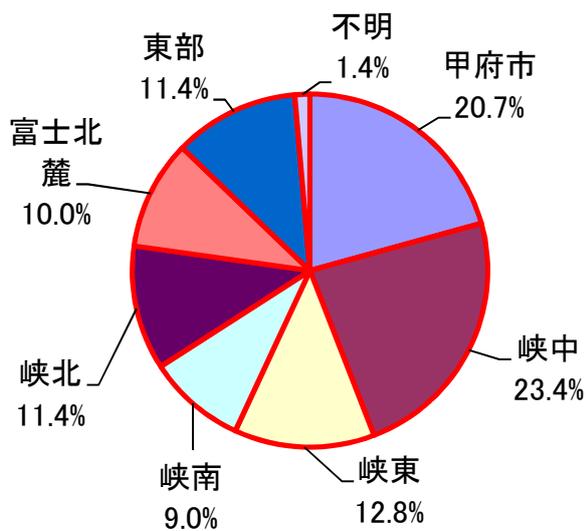
① あなたの性別をお答えください。



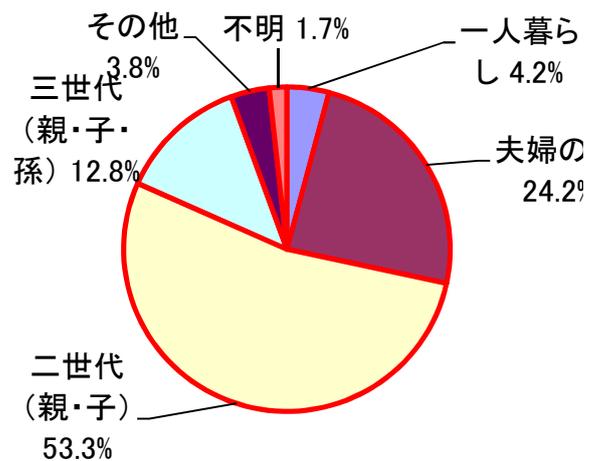
② あなたの年齢をお答えください。



③ あなたのお住まいをお答えください。



④ あなたの家族構成をお答えください。



甲府市

峡中: 甲斐市、南アルプス市、中央市、中巨摩郡

峡東: 山梨市、甲州市、笛吹市

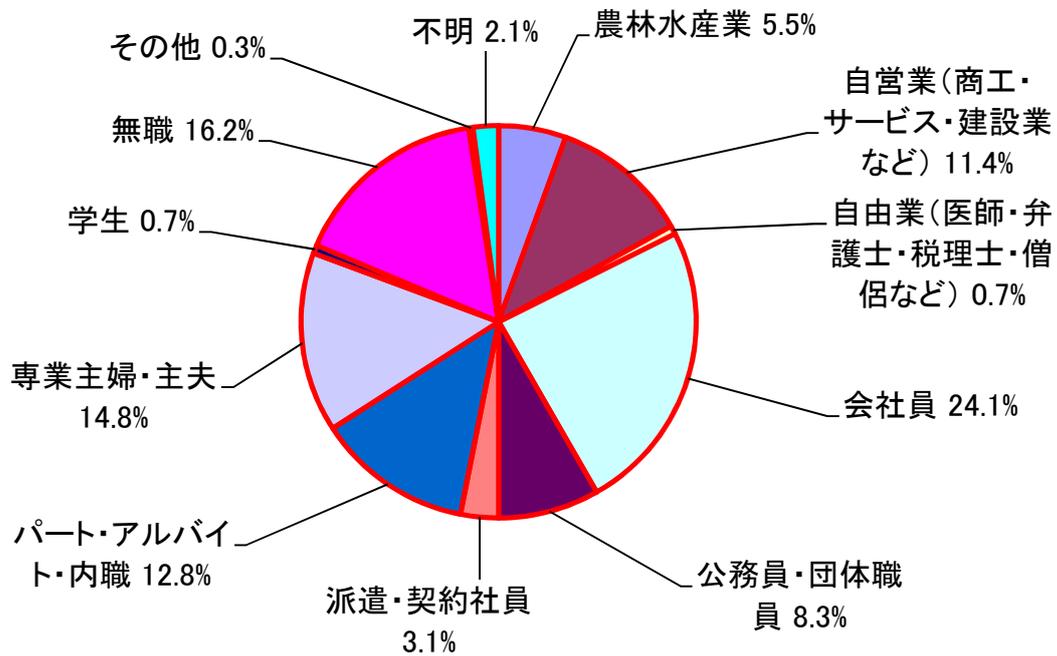
峡南: 西八代郡、南巨摩郡

峡北: 韮崎市、北杜市

富士北麓: 富士吉田市、南都留郡

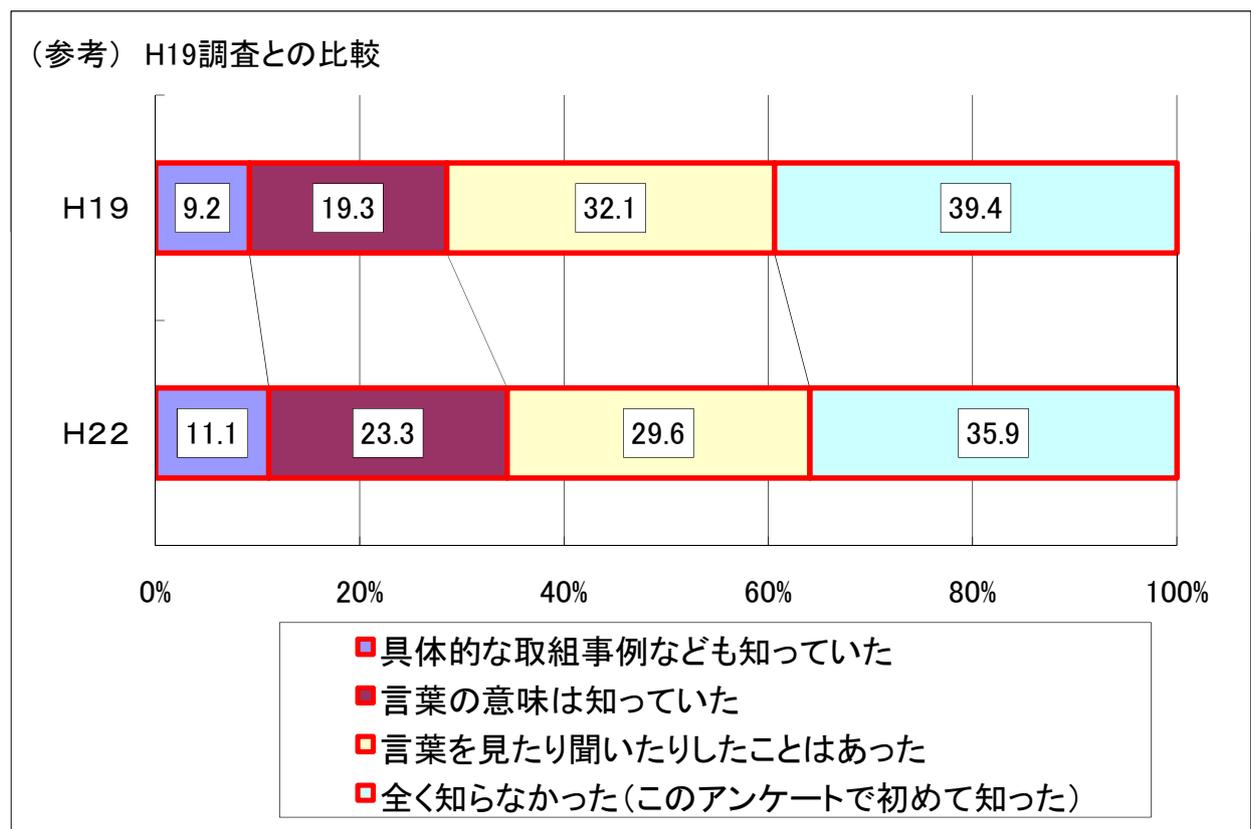
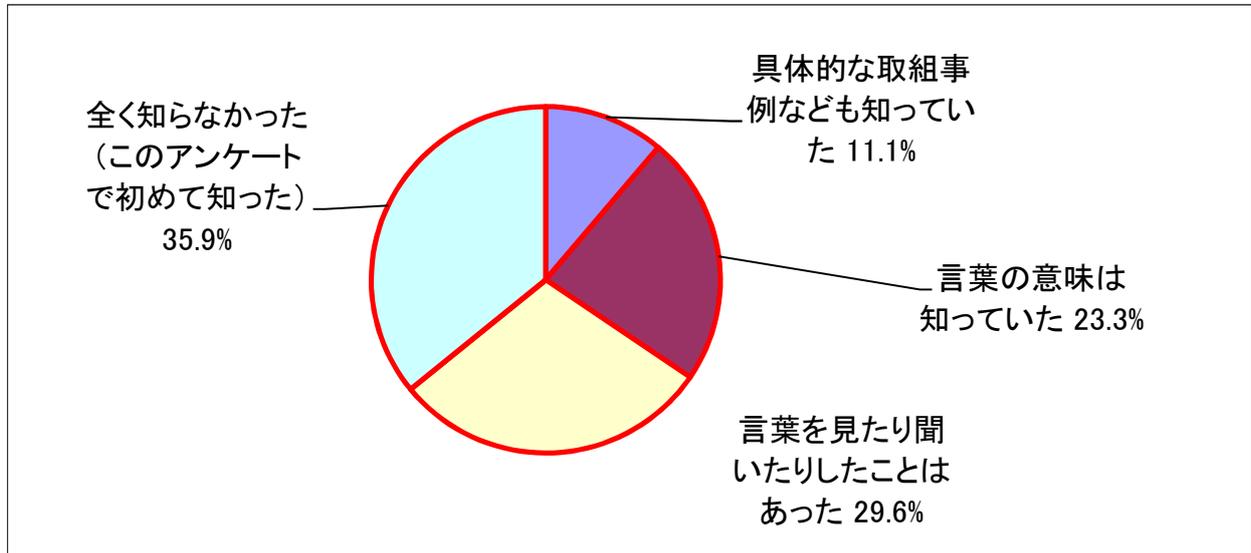
東部: 都留市、大月市、上野原市、北都留郡

⑤ あなたの職業（兼業の方は主な職業）をお答えください。



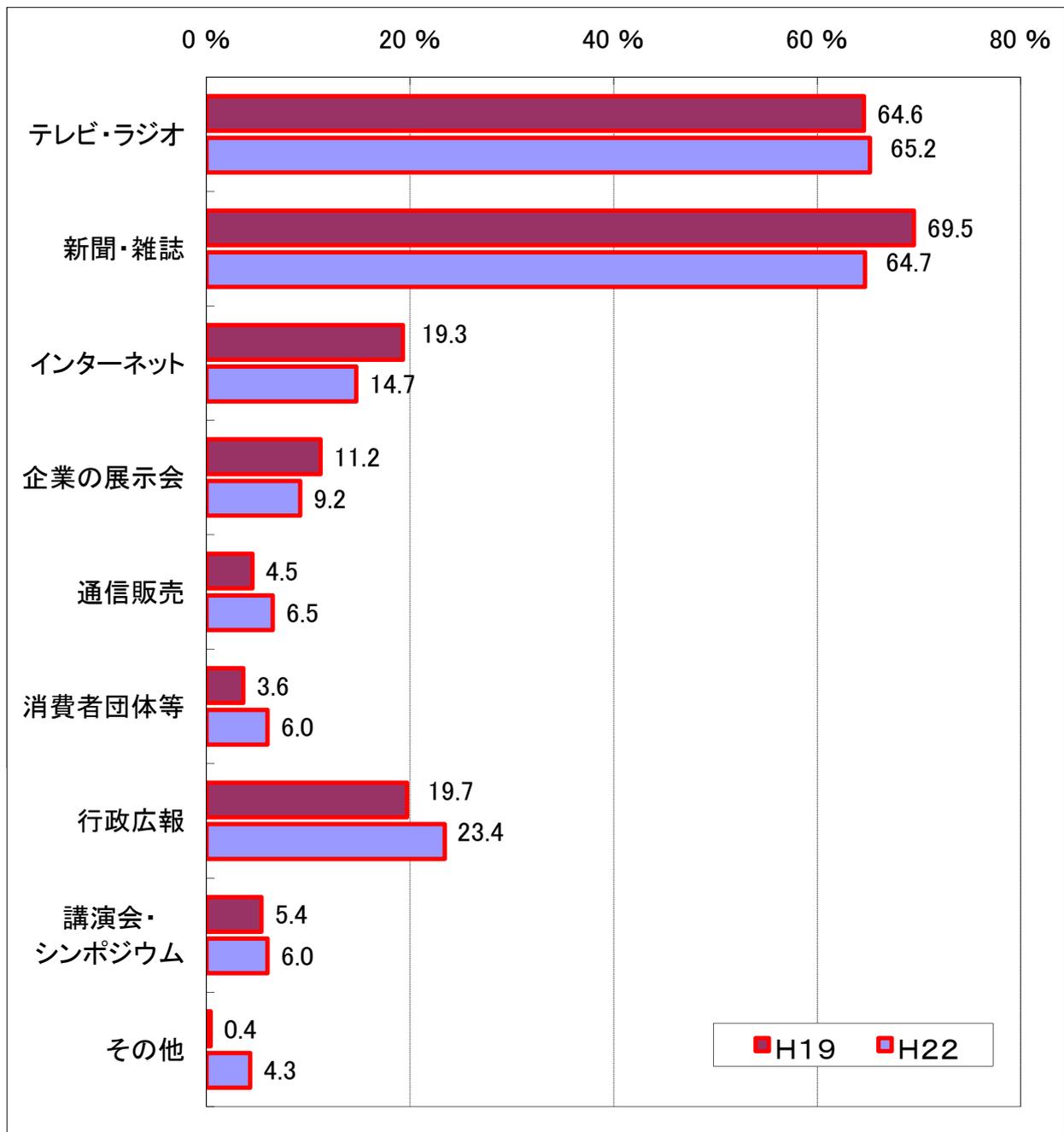
5 アンケートの集計結果

問1. ユニバーサルデザインとは年齢、性別、国籍、障害の有無など個人の様々な状況に関わらず、可能な限り多くの人ができるデザインのことです。
あなたは「ユニバーサルデザイン」という言葉についてどの程度ご存知ですか。
(〇は1つ)



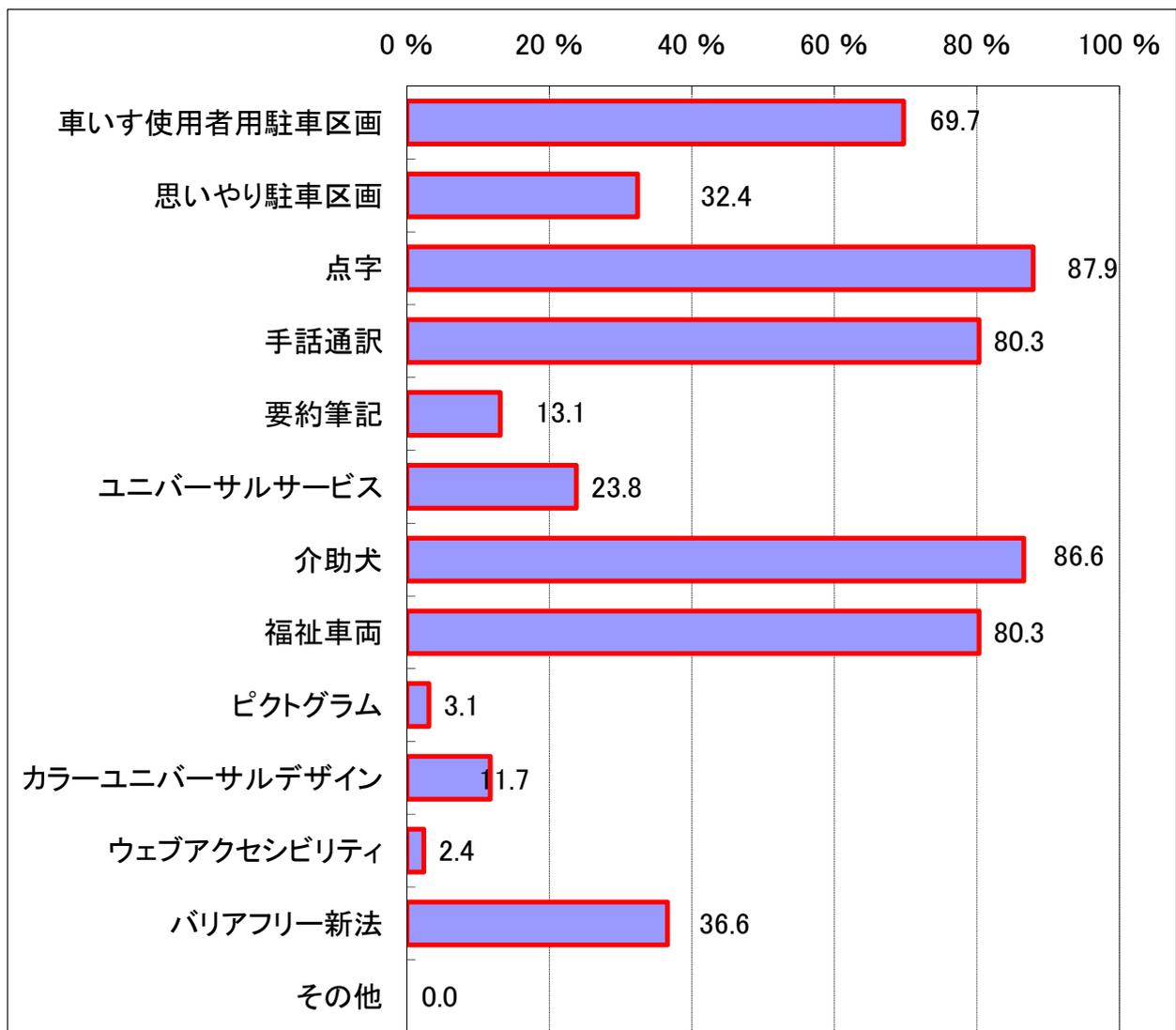
- 「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度は、前回調査(H19調査)に比べ「具体的な取組事例なども知っていた」、「言葉の意味は知っていた」を合わせると6%近く増えている。
また、「言葉自体を全く知らなかった」の割合も少なくなるなど、「ユニバーサルデザイン」という言葉自体の認知度は向上している。

問2. [問1で1~3と答えた方にお聞きします]
ユニバーサルデザインに関する情報について、
どのようなところで見聞きしたことがありますか。(〇はいくつでも)



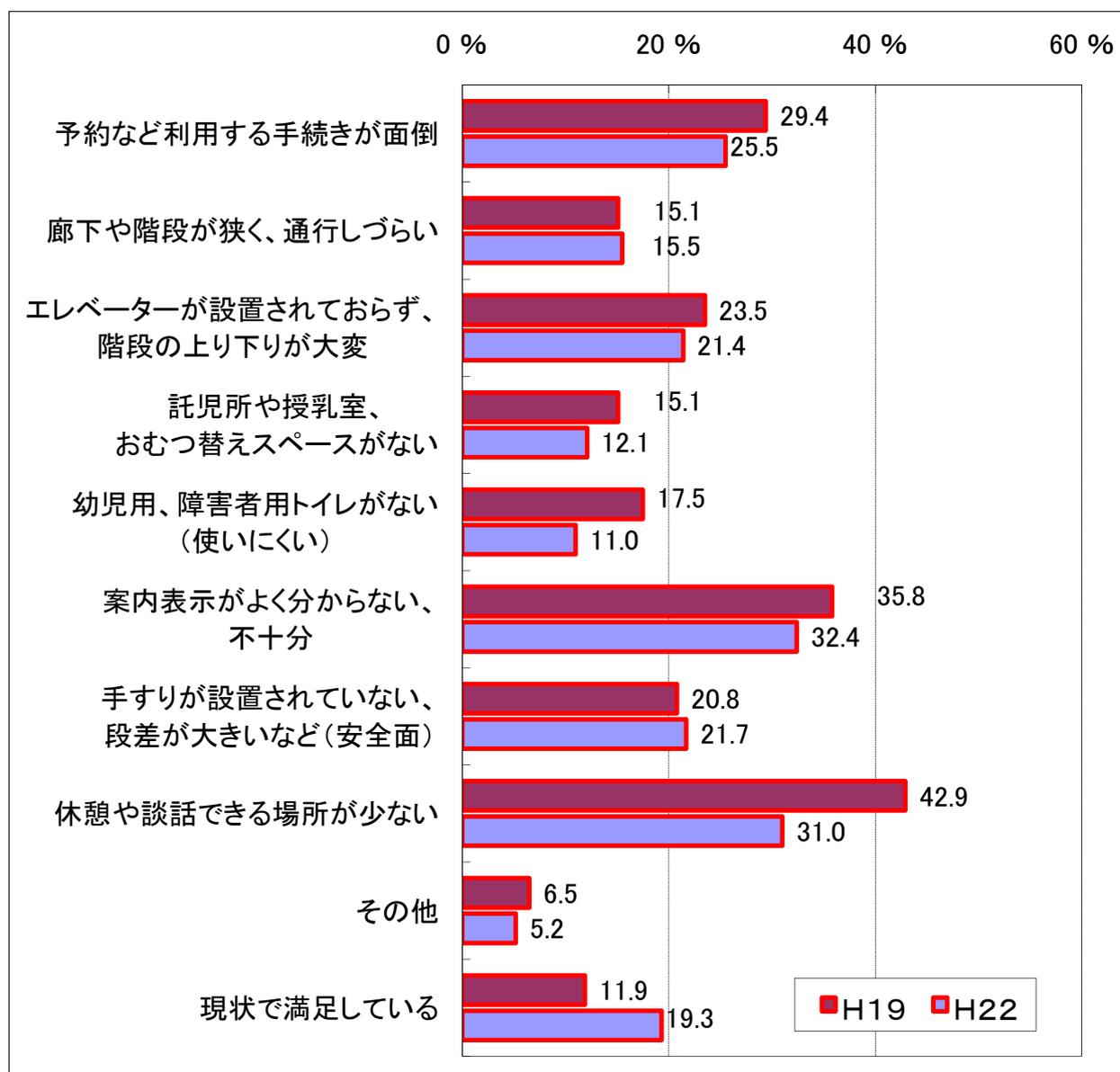
○ 「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌」からが前回調査(H19調査)と同様に6割を超えるなど、主な情報の入手先となっている。また、行政公報からの情報入手も多くなっている。

問3. 次の言葉の中で名前を知っているものを選んでください。(〇はいくつでも)



- 問1の「ユニバーサルデザイン」という言葉の認知度で「具体的な取組事例なども知っていた」、「言葉の意味は知っていた」を合わせても4割だが、「点字」、「手話通訳」、「介助犬」、「福祉車両」の認知度は8割を超えるなど、個別の事例と「ユニバーサルデザイン」とが結びついていない。

問4. あなたは、日頃よく利用する施設（公共・民間は問いません）において、困ったことや不便に感じたことはありますか。（〇はいくつでも）

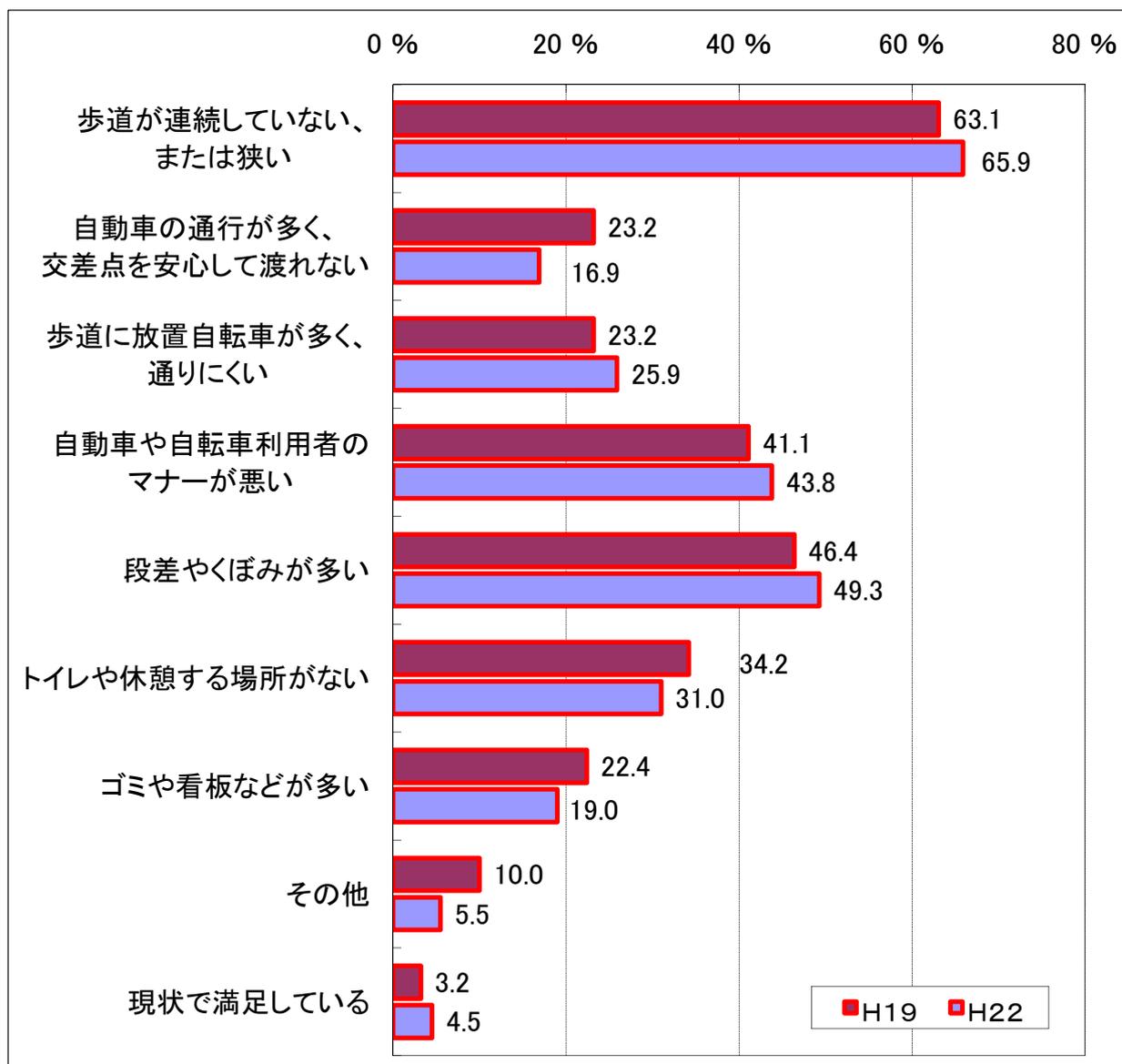


○ 前回調査（H19調査）に比べ、日頃よく利用する施設への満足度は全体的に向上傾向にある。

その他のご意見

- ・スロープの設置が駐車場と反対
- ・トイレが狭い、洋式トイレがない
- ・冷暖房設備の不具合
- ・木陰など休めるところが少ない

問5. あなたは、日頃よく利用する道路の歩道について、困ったことや不便に感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

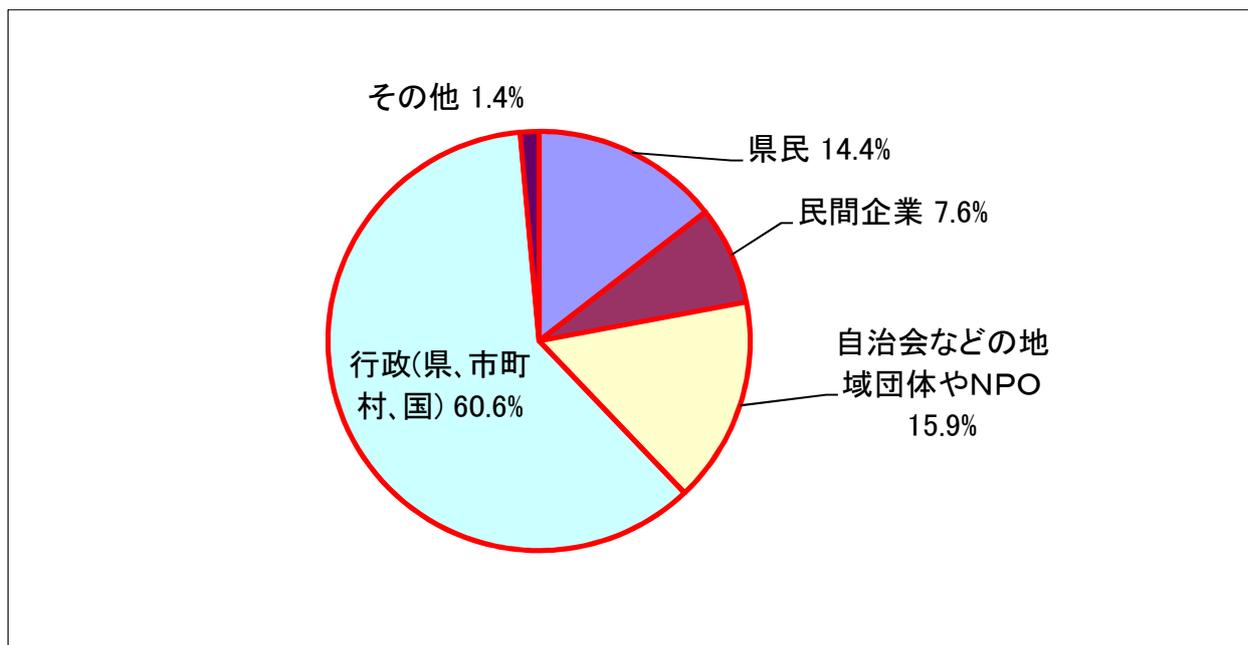


○ 道路の歩道については、「歩道が連続していない、または狭い」が6割を超えているほか、「段差やくぼみが多い」も5割近くが困ったり不便に感じている。

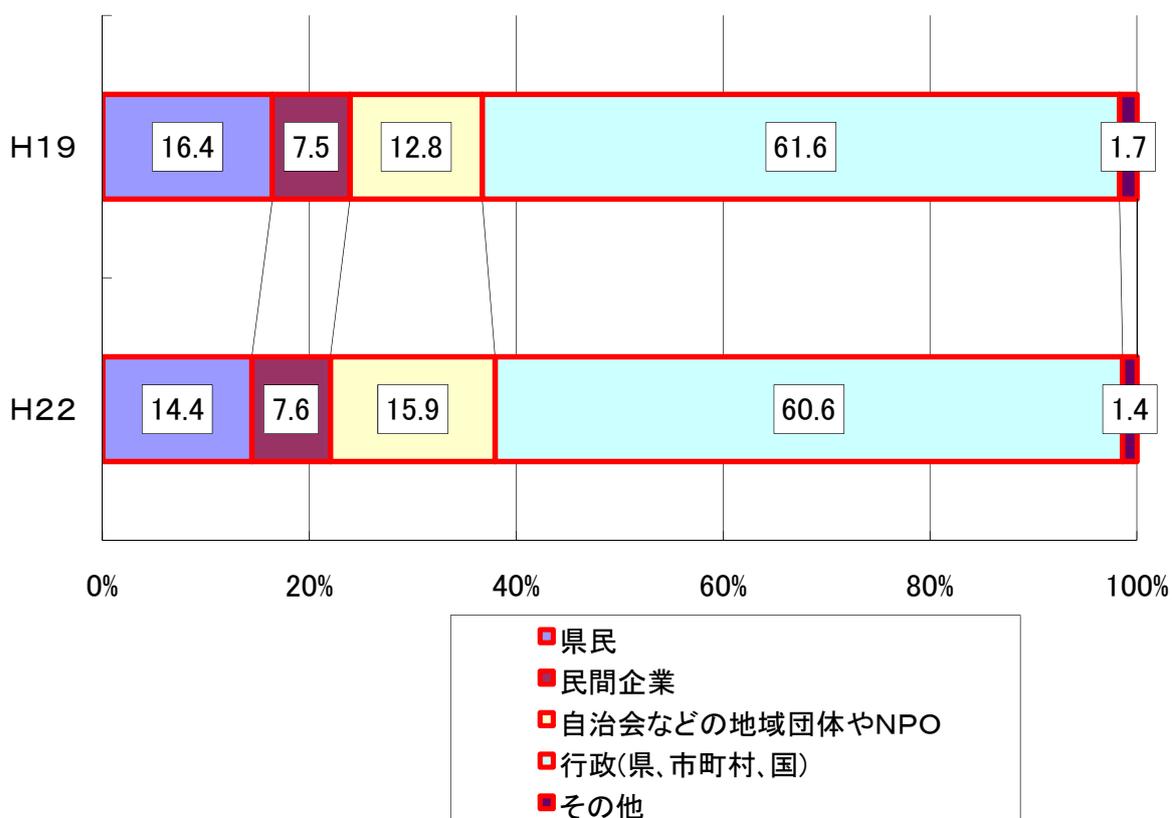
その他のご意見

- ・自動車道と自転車道が分かれておらず危険
- ・歩道に木が生い茂り自転車や歩きでも通りにくい
- ・植栽等が邪魔で交差点の見通しが悪い
- ・街灯が少なく暗い
- ・歩道が全くなく通学路のため危険

問6. 地域でユニバーサルデザインを推進していくためには、どこが主体となるべきだと思いますか。次の中から一つ選んで下さい。(〇は1つ)

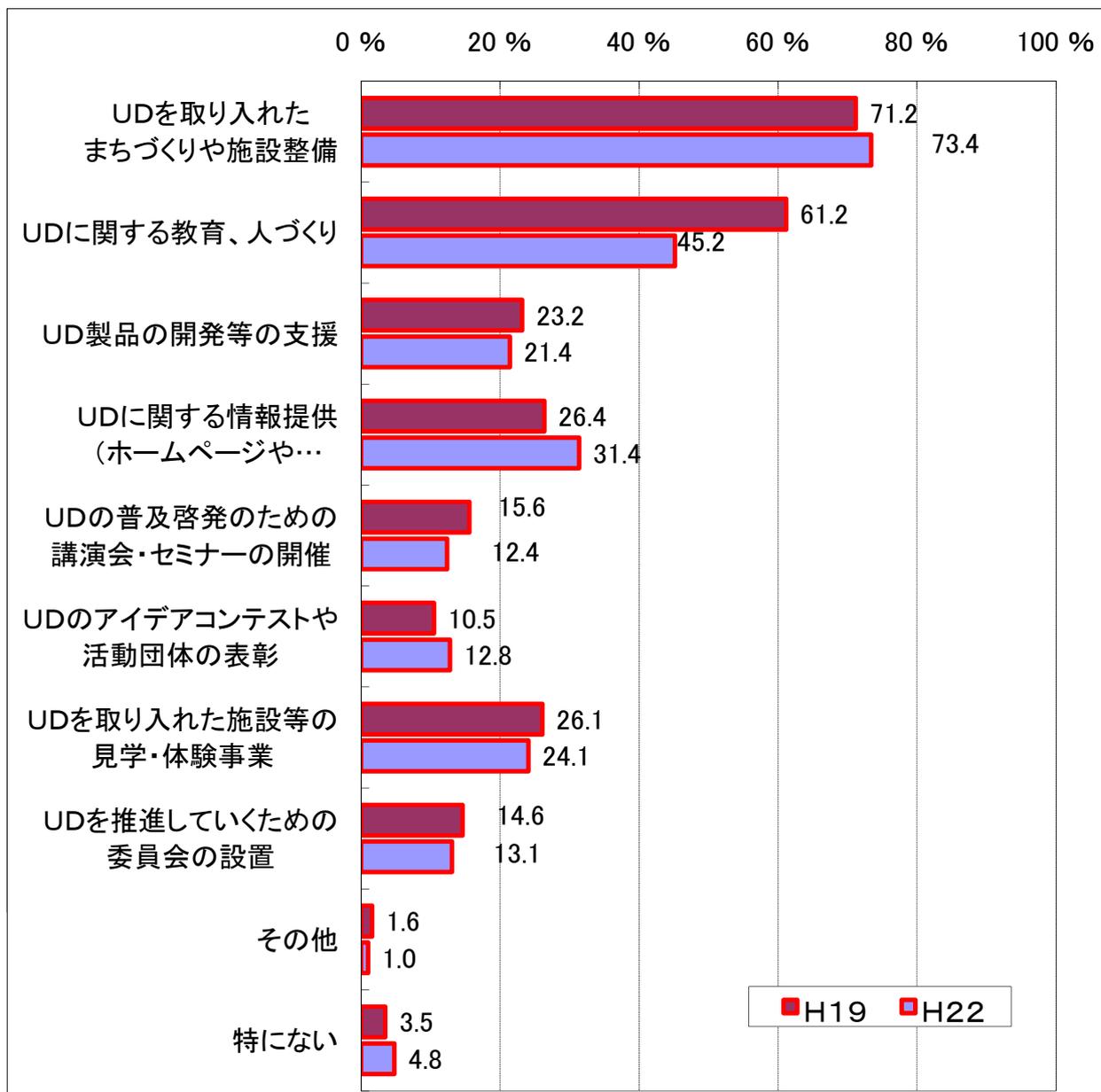


(参考) H19調査との比較



○ 「ユニバーサルデザイン」の推進主体は、「自治会などの地域団体やNPO」が若干増えているが、前回調査(H19調査)同様、行政が主体となることが期待されている。

問7. あなたはユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）を推進していく上で、行政に期待することは何ですか。（〇は3つまで）



- UDを推進していく上で行政に期待することは、「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が前回調査（H19調査）同様7割を超えている。また、UDに関する情報提供を求める回答も増えている。

その他のご意見

- ・自動車道と自転車道が分かれていなくて危険
- ・歩道に木が生い茂り自転車や歩きでも通りにくい
- ・植栽等が邪魔で交差点の見通しが悪い
- ・街灯が少なく暗い
- ・通学路に歩道が全くなく危険

問8. 「ユニバーサルデザイン」のまちづくりをどのように進めていけばよいと思いますか。あなたの考えをご自由にお書きください。

主なご意見

- ・情報提供をすることで、新たな考えや、理解、アイデアが生まれると思う。
- ・周知から始める。そこから、民間企業、県民とのコミュニケーション(まちづくり)ができる。
- ・UDの概念が全く広く良く知られてないので、UDについての教育、知るためのきっかけづくりが必要
- ・一番は地域の協力。集会などの時、活動したり見学会を催して理解を求めることも大事
- ・県民・各団体の意見を聞く(対象者の目線で進めていく)
- ・障害者、高齢者が当然のように外出時に不便を感じないように、意見を聞き公共施設をつくる。
- ・行政はUDを必要とする人たち、又はそういう人たちを支える立場の人たちを対象に意見を聞き、優先順をつけてまちづくりを進めるべき。
- ・よく利用される公共施設等でその必要性をアンケート調査し、その結果を踏まえて行う。その試行結果をさらにアンケート調査し、他の施設等へ拡大普及する。
- ・子どもたちへのUDの意味、利用方法などの教育を進めていく。(学校教育に取り入れる。)
- ・県民、特に成人に対して趣旨の理解、教育をして人づくりが大切
- ・他人事に感じている人が多いので、教育・人づくりが大切
- ・町の行政担当者も、このことについてもっと勉強する機会をつくる。
- ・不自由さは本人でないとなかなか分からない。実体験出来ると進めやすくなる。
- ・施策、実行内容等よく知らないので、身近に接することができるような機会、場所を設ける。
- ・街中に氾濫している案内板、標識等を各層の人たちに理解できるものに変えスッキリした街作りになるよう行政、県民が共にアイデアを出していく。
- ・場所や目的地の表示、日本の文化を知らない人、老人の目線にたった分かりやすいUDから進めていったらよい
- ・新たにつくるものについては、使いやすさや将来への見通しをもってつくるのが大切
- ・交通量の多い場所や、人がたくさん集まる場所から実施する。
- ・(官民一体で)モデルをつくり、良さを多くの人に知る機会をつくるのが大切
- ・大まかな方針(方向性)を行政が示し、自治会を通じ、協力・推進のかたちが良い
- ・多くの人の感覚を共有することが必要、出来る場所から速やかに行動する。街作りプランを、大きな視点でつくり、計画的に、効果的に、効率よく推進する。
- ・道路や歩道が狭いため、一步通行にするなど、広い歩道や自転車専用道があればよい。
- ・歩道の確保はして欲しい。(子どもたちが危なくないように)
- ・横断歩道を渡りやすくする。(立っただけでも車が止まらないので、止める工夫が必要)
- ・道路などからもすぐに目に付くよう、思いやり駐車区画などにそれぞれ色をつけたらどうか。
- ・国籍・年齢・障害の有無に関係なく交流できる場所がもっとあってもいい。